

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 3 0 年度 第 1 回 新 座 市 社 会 教 育 委 員 会 議
開 催 日 時	平成 3 0 年 5 月 3 1 日 (木) 午後 2 時 0 0 分 から 午後 3 時 4 5 分 まで
開 催 場 所	新 座 市 役 所 本 庁 舎 3 0 3 会 議 室
出 席 委 員	平岡 健二 委員・宮 敦子 委員・坂本 純子 委員・渡部 由美 委員・ 嶋村 清治 委員・宮脇 恵子 委員・加藤 良明 委員・ 竹内 勘次 委員・鈴木 芳明 委員・結城 美千代 委員 (計 1 0 名)
事 務 局 職 員	教育長 金子 廣志 教育総務部長 渡辺 哲也 生涯学習スポーツ課副課長 斉藤 政登 生涯学習スポーツ課生涯学習・文化財係長 西珠 世 生涯学習スポーツ課主事 泉崎 葉子
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 委員の委嘱について 4 議長・副議長の選出について 5 議事 (1) 平成 3 0 年度教育行政重点施策について (2) 平成 3 0 年度教育委員会予算概要について (3) 平成 3 0 年度社会教育関係団体補助金交付について (4) その他 6 閉会

<p>会 議 資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 平成30年度新座市社会教育委員委嘱者名簿 3 平成30年度新座市教育行政推進施策 4 平成30年度教育委員会予算概要について 5 平成30年度社会教育関係団体補助金交付について 6 新座っ子パワーあっぷくらぶ参加児童数一覧 7 平成30年度新座っ子パワーあっぷくらぶパンフレット 8 新座市子どもの放課後居場所づくり事業学年別登録者数 9 平成30年度新座市民総合大学受講生の応募状況について 10 平成30年度新座市民総合大学募集案内 11 新座市快適みらい都市づくり出前講座パンフレット 12 西東京市及び新座市の図書館の相互利用に関する統計 13 生涯学習ボランティアバンクガイド 平成30年度版 14 睡足軒屋根葺き替え工事について
<p>そ の 他 の 必 要 事 項</p>	
<p>審 査 の 内 容 (審 査 経 過 ・ 結 論 等)</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 教育長挨拶 3 委員の委嘱について <ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状（平成32年3月31日までの任期）を机上交付した。 ・ 委員自己紹介 ・ 事務局自己紹介 4 議長・副議長の推薦 	

- ・ 新座市社会教育委員の会議に関する規則第3条に基づき、委員の互選により選出した。委員の推薦により、議長に加藤委員、副議長に宮脇恵子委員が選出され、承認された。

5 議事

(1) 平成30年度教育行政重点施策について

(ア) 資料に基づき事務局から説明を行った（以下補足説明）。

- ・ 新座っ子ぱわーあっぷくらぶの推進について、子どもたちの休日の学習・体験活動の場として、また、安心・安全な居場所づくりとして、各小学校において、第1・第3土曜日に実施している。今年度は、35クラブを開設し、合計827人の児童が登録し、6月から各学校でクラブがスタートする予定である。
- ・ 子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）の拡充について、平成30年度は栄小学校、八石小学校において新たに開始し、全11校で実施する。また、すでに実施している東野小学校、栗原小学校において、夏休みなどの長期休業日における午後の活動を開始する。登録者数はおおむね、昨年度より増加傾向にある。特に、長期休業日における午後の活動を開始する学校（東野・東北・栗小・大和田ココフレンド）は登録者が増加の傾向にある。なお、今後の運営について、平成32年度までに全小学校にココフレンド事業を導入したい考えであるが、その運営を「民間委託」とすることも視野に入れて検討している。
- ・ 市民総合大学について、市内3大学の協力を得て、3学部3学科を設置し、6月9日から12月8日までの土曜日、入学式・修了式含めて全15回の日程で開催する。今年度は、健康学部健康づくり学科、食育学部食育推進学科、地域学部新座の魅力発見学科を開設する。応募状況については、今年度は健康学部健康づくり学科で定員を大幅に超える応募があり、抽選により受講生を決定した。その結果、3学部ともに定員数である40人の受講生でスタートすることになった。現在6月9日の入学式に向けて準備を進めているところである。
- ・ 子どもの学ぶ力や生きる力の向上、地域の教育力の向上を目的として開催している「子ども大学にいざ」について、今年度は、8月21日、22日、23日の3日間で、子どもたちの夏休みを

活用して、初めての平日での開催を予定している。十文字学園女子大学、ボランティア団体雑木の会、生涯学習スポーツ課で「子ども大学にいざ実行委員会」を組織し、8月の開催に向けて準備を進めているところである。

- 西東京市図書館との連携について、平成28年4月から、西東京市と協定を結び、図書館の相互利用が可能となった。平成29年度の新座市民の西東京市図書館利用状況について、新規登録者は505人、登録者数は1,694人、貸出者数は27,382人であった。前年度の貸出者数は23,113人であった。順調に認知されている。
- 野火止公民館及びふるさと新座館ホールについて、本年4月から指定管理者による管理運営が始まったところである。指定管理者である㈱セイウンとの連携による利用者サービス、文化・芸術活動支援の充実に努めていく。なお、市民会館については、平成28年度から本年度までの3年間、㈱ケイミックスパブリックビジネスに管理運営を委託しているが、来年度以降、5年間の委託についても、㈱ケイミックスパブリックビジネスを候補者として指名する方針が決定し、現在、指定管理者候補者選定の作業を進めているところである。また、福祉の里図書館及び分館5館についても、平成31年度から指定管理者制度を導入する方針が決定しており、公募により選定を行う作業を進めているところである。
- 野火止用水クリーンキャンペーンについて、本年度は、8月25日（土）に、市内の野火止用水を3地区に分け、新座中学校、第二中学校及び第六中学校の生徒や地域ボランティアの皆様の御協力により開催する。昨年度は、実施主体となる中学校との調整の結果、2日間に分けて実施したが、本年度は、例年どおり、8月の土曜日1日間での実施とする。今後、広報にいざ7月号で参加の御協力の依頼をする。
- 国指定天然記念物「平林寺境内林」の一部として開放している睡足軒について、現在、屋根の葺替工事を実施している。本年4月20日から工事を開始し、7月末に完了する予定である。
- 大和田運動場サッカー場改修工事について、大和田二・三丁目地区区画整理事業に伴い、改修工事を行う。内容としては、ロン

グパイルの人工芝ピッチ、LED夜間照明設備、防球ネットなどを整備する予定である。整備に当たっては、独立行政法人日本スポーツ振興センターによる「スポーツ振興くじ助成金」を活用する。現在は設計をしている段階であるが、年度内に工事を完成させ、平成31年度から供用開始の予定である。

- ・ 大和田二・三丁目地区区画整理事業に伴い、大和田運動場野球場を移転し、同時に野球、サッカー、グラウンドゴルフなどの多目的に利用できる運動場として整備する。

また、野火止運動場については、現在は多目的に利用している運動場であるが、野球専用グラウンドとして整備する。工事スケジュールについては、大和田運動場は移転予定地である調整池の工事が完了した後、平成31年度に整備工事を行い、平成32年度に開設する予定である。野火止運動場は、現在実施している設計業務が完了した後、本年秋をめどに工事を行い、平成31年度の開設を目標に準備を進めている。

(イ) 質疑応答・意見交換

- ・ 長期休業日の午後も開設するココフレンドはどこか。
→ 平成30年度は、東野、東北、栗小、大和田、八石、栄のココフレンドである。
- ・ ココフレンドのスタッフの勤務状況を教えてほしい。
→ コーディネーター及びスタッフで、常時4、5名の体制で運営している。長期休業日の午後については、シルバー人材センターに委託している場所もある。さらに、プログラミングなどの体験学習を民間に委託している場所もある。

コーディネーターについては、開設当初は退職校長にやってもらっていたが、学校数の拡大に伴って、元PTA会長などにもやっていただいている。

- ・ ぱわーあっぷくらぶで石神小学校において茶道の指導者をしているが、応募者多数のため抽選により参加者を決めた。落選者から残念という声を聞いている。茶道に限らず、伝統文化においては指導者の高齢化という問題に直面している。若い方にもっと携わっていただきたい。
- ・ 大和田カミ遺跡で発掘された埋蔵文化財は、一般公開するの

か。

→ 大和田カミ遺跡については、まだ発掘が完了していない。今後、遺跡の分析調査を行う予定である。分析調査終了後、展示の機会を設定したいと考えている。

・ 市教育委員会には、社会教育・生涯学習分野において幅広く事業を展開していただいている。今後も、社会のニーズに合った事業を展開していただきたい。

・ 中学校の部活動について、教員の多忙化が社会問題化しているが、新座市ではどのような状況か。

→ 平成30年3月に国が部活動に関するガイドラインを出した。「週2日以上以上の休養日を設ける。」「1日の活動時間について、平日は2時間程度、休日は3時間程度とする。」等といった内容である。それ受け、県でも6月中に方針を出すこととしているが、本市でも県の方針に沿って進めていくことになるだろう。

→ 部活動については、保護者の考え方もそれぞれである。「もっと強くなりたいから積極的に活動してほしい。」という保護者と、「なぜそこまでやるのか。」という保護者がおり、加減が難しい。

→ 高等学校においても同じ問題を抱えている。運動部だけでなく文化部も同様である。本校では、外部指導者の活用を推奨している。

→ 卒業生を活用し、部活動指導に携わってもらえばいいのではないか。

・ 児童の放課後の居場所づくりについては、保護者にとって関心が高く、社会的な整備が必要である。新座小学校ではココフレンド事業が導入されていないが、学童を利用していない保護者から放課後の過ごし方について相談を受けることがある。保護者同士のコミュニケーションも減っていることから、保護者同士がつながっていけるような活動をすることがP T Aの課題となっている。

→ 児童の放課後の居場所づくりは課題である。ココフレンド事業は、平成32年度までに、全小学校に導入する計画であ

る。場所や人材の問題もあり、事業規模を拡大できない市も多いが、本市は先進的に進めている。

(2) 平成30年度教育委員会予算概要について

(ア) 資料に基づき事務局から説明を行った（以下補足説明）。

- ・ 教育総務費・事務局費の523万7千円の減額については、教育インターネット整備に係る費用が減少したことが主な要因である。
- ・ 小学校費・学校管理費の4177万4千円増額については、西堀小学校の屋上防水改修工事、池田小学校プールろ過機改修工事、大和田小学校引き込み柱受電切り替え工事を実施することが主な要因である。
- ・ 社会教育費・青少年育成費の1758万7千の増額については、子どもの放課後居場所づくり（ココフレンド）事業を栄小、八石小の2校で新たに開設することが主な要因である。
- ・ 社会教育費・市民会館費の821万4千円の増額については舞台機構の入替え工事を実施し、賃貸借を開始したことが主な要因である。
- ・ 保健体育費 4 体育施設費の1億3491万3千の増額については、大和田運動場サッカー場改修工事を実施することが主な要因である。
- ・ 保健体育費・学校給食費の1億38万円の減額については、給食調理員の定年退職に伴う人件費の減額、給食室の改修工事を昨年度2校（大和田小・新堀小）実施したところ、今年度は1校（池田小）としていることによる減額、給食室改修工事に伴う調理備品の購入のための費用が減額したことが主な要因である。

(イ) 質疑応答

なし

(3) 平成30年度社会教育関係団体補助金交付について

(ア) 資料に基づき事務局から説明を行った。

(イ) 質疑応答

- ・ P T A ・ 保護者会連合会の補助金増額の理由は
→ 連合会の負担軽減及び更なる活動支援のため増額した。増額した12万円の積算としては、単会が市に払っている会費5千

円×23校分である。参考であるが、子ども会連合会については、団体数の減少に伴い補助金を12万円減額している。

(4) その他

(ア) 平成30年度社会教育委員会議等日程（案）について、資料に基づき事務局から説明を行った。

(イ) 質疑応答
なし

6 閉会（副議長）